

第 1 回説明会を開催

ペンシルベニア州立大との交流事業

人文学部は、今年 5 月と 9 月に実施する米ペンシルベニア州立大 (PSU) との交流事業についての説明会を 1 月 29 日昼に人文学部内で開催した。説明会には人文学部を筆頭に、教育学部、工学部、農



学部から学生が参加、中身の説明に耳を傾けていた。

説明会は、5 月に米学生が水戸を訪れ、茨大生と混成グループを結成し、日本文化を知るための交流事業について PSU から既に訪問日と滞在期間の伝達があり、スケジュールについて昨年 9 月の米国での交流事業に参加した茨大生を中心に作成を進めるなど、既に動き始めている現状を踏まえて開催された。

冒頭、昨年実施した 5 月と 9 月の双方の学生でグループを作り、相手国の文化を知るための交流事業のビデオを映写し、それを鑑賞、その後、中身の説明に移った。プログラムの



説明では、交流事業の責任者である人文学部国際交流委員長の古賀教授が、パワーポイントのスライドを基に、学生数が 4 万 5000 人を数える PSU の概要のほか、昨年 5 月、9 月に取り組んだ交流事業の中身を具体的に紹介した。

昨年 9 月の交流事業に参加した人文学部 2 年の西江隆博さん、教育学部 3 年



の菊池悠馬さんは、ネイティブを前に英語でプレゼンした体験談などの披露し、「大変有意義な交流事業なのでぜひ参加を」と PR していた。今年度の説明会は、これが最後で、新年度入りの 4 月に再度実施する予定。

(終)